

■児童・生徒の学力の状況

○今年度の「全国学力・学習状況調査」の結果では、平均正答率において、国語は全国平均を4.7ポイント上回り、数学は3.7ポイント上回った。このことから、学力は概ね身に付いていると考えられる。  
 ○今年度のRSTの結果より、中学生受検者の偏差値を比較すると、全学年でイメージ同定、具体例同定の評価が高く、得意とする生徒が多い傾向が見られた。一方、1、2年生では全国平均は越えているものの、同義文判定の評価低く、課題を抱える生徒が多い傾向がある。

■授業革新推進に向けた、指導上の課題

○読み解く力を育む授業の流れを定着させること。  
 ○「話す・聞く・書く・読む」の4技能を高めるための「志五中スタイル」を徹底すること。  
 志五中スタイル  
 1 根拠+《接続詞》+自分の考え  
 2 キーワードを意識  
 ○全国学力・学習状況調査の学力を向上させるための調査、RST、WEB-QUを分析し、有効に活用すること。

■学校経営方針より（学力向上に関わる内容から）

○ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学びを充実させる。  
 ○生徒の主体的な学びを推進し、思考力・判断力・表現力を育成する。  
 ○生徒一人ひとりに応じた学力向上支援を充実させる。

■授業革新推進に向けての具体的な方策

視点1	視点2	視点3
ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実	主体的な学びを推進し、思考力・判断力・表現力を育成	生徒一人ひとりに応じた学力向上支援の充実
○研究推進委員会を中心に「学習最適化」をめざした授業や協働的な学びを実現する授業を推進する。 ○GIGAスクール構想に基づき、「チョーク&トーク」型授業からの脱却を図り、生徒が端末を活用する場面を意図的に設定する。	○「板橋区授業スタンダード」及び「志五中スタイル」を全教科で実施し、授業の導入で「目標」を提示し、「自力解決→集団解決→まとめ・振り返り」の流れを徹底する。 ○課題解決型学習・協働学習・体験的活動・自己調整型学習を取り入れ、「学習者中心の授業」へ転換する。	○少人数による習熟度別授業、学力向上専門委員、夏季補習教室、学力向上推進週間を活用し、きめ細かな指導を行う。 ○夏季補習教室を計画的に実施し、全国学力・学習状況調査及び定期考査前には具体的な課題指導を行い、基礎・基本の学力向上を図る。

■いたばし学び支援プラン2025の実現に向けた具体的な取組

保幼小接続・小中一貫教育の推進	板橋区コミュニティ・スクールの推進	教職員の働き方改革
○舟渡小学校と連携し、防災教育を通じて地域防災に貢献する心を育む。 ○小中共通の教育課題（「読み解く力」「環境教育」「キャリア教育」）について共通理解を深める。 ○学習指導・生活指導・特別活動における小中間の指導方法の相互理解を促進する。 ○中1ギャップの未然防止を図り、児童と生徒の自然な接続を支援する。	○コミュニティ・スクール委員会と連携し、学校課題の解決に向けた協働体制を構築する。 ○地域との連携を強化し、生徒の地域参加の機会を広げる。 ○地域人材（大学生ボランティアを含む）を活用し、地域の教育力を取り入れる。 ○関係諸機関と連携し、生徒指導における支援体制を整える。 ○学校教育への理解と信頼を深めるため、広報活動を充実させる。 ○保護者が必要な情報を得やすい環境を整える。	○学校全体で働き方改革を推進し、教職員のワーク・ライフ・バランスを整える。 ○校務のICT化を推進し、業務の効率化を図る。 ○教職員が主体的に学び続ける姿勢を育み、自己研鑽に努める。